

平成28年度一橋大学政策フォーラム

尊厳概念のアクチュアリティ

- 尊厳概念の定着した日本社会の構築に向けて -

【プログラム】

12:30- 開場・受付

13:00-13:20 趣旨説明：加藤 泰史（一橋大学大学院社会学研究科教授）
「尊厳概念のアクチュアリティ」

13:20-14:20 第一部 DVと差別をめぐる尊厳問題

宮地 尚子（一橋大学大学院社会学研究科教授）
「暴力と尊厳：公私の二分法から公／親密／個の三文法へ」
石居 人史（一橋大学大学院社会学研究科教授）
「ハンセン病者の生と死をめぐる社会的価値 - 近現代の日本社会における -」

14:20-14:30 休憩

14:30-15:30 第二部 高齢者介護と福祉政策の尊厳問題

後藤 玲子（一橋大学経済研究所教授）
「公共政策における決定不可能性と倫理について」
浜渦 辰二（大阪大学大学院文学研究科教授）
「日独の高齢者介護の比較 - 「尊厳」概念を中心に -」

15:30-15:40 休憩

15:40-16:40 第三部 生と死を取り巻く尊厳問題

香川 知晶（山梨大学大学院医学工学総合研究部医学部医学教育センター教授）
「人間へのゲノム編集は許されるか？」
松田 純（静岡大学特任教授／放送大学客員教授）
「尊厳死と安楽死 - 「死ぬ権利」の法制化は「尊厳ある最期」を保障できるか」

16:40-16:50 休憩

16:50-18:20 登壇者全員によるパネルディスカッション

日 時 平成28年10月22日（土）13時00分～18時20分（12時30分 受付開始）

会 場 如水会百周年記念インテリジェントホール
東京都国立市中2-1 一橋大学西キャンパス構内

参加費：無料

お申込み方法 ①ご芳名（フリガナ）、②ご所属（企業名等）、③連絡先（E-mail）を明記の上、下記アドレスにてお申込みください。
E-mail：soc-so.g@dm.hit-u.ac.jp ※定員（100名）になり次第締め切ります。

主 催 一橋大学・一橋大学大学院社会学研究科
共 催 科学研究費助成事業 基盤研究（A）尊厳概念のアクチュアリティ-多元主義的社会に適切な概念構築に向けて-研究課題番号：25244001
トヨタ財団研究助成プログラム（A）共同研究助成（認知症患者を含む）高齢者ケアの現状を踏まえた高齢者の尊厳の比較文化的研究
とそれにもとづく福祉社会の新たな可能性の探求 助成番号：D14-R-0798

お問合せ 一橋大学大学院社会学研究科

TEL：042-580-8213 E-mail：soc-so.g@dm.hit-u.ac.jp



HITOTSUBASHI
UNIVERSITY

平成 28 年度第 3 回一橋大学政策フォーラム

「尊厳概念のアクチュアリティ-尊厳概念の定着した日本社会の構築に向けて-」

主 催：一橋大学・一橋大学大学院社会学研究科

共 催：科学研究費助成事業 基盤研究（A）尊厳概念のアクチュアリティ-多元主義的社会に適切な
概念構築に向けて-研究課題番号：25244001

トヨタ財団研究助成プログラム（A）共同研究助成（認知症患者を含む）高齢者ケアの現状
を踏まえた高齢者の尊厳の比較文化的研究とそれにもとづく福祉社会の新たな可能性の探求
助成番号：D14-R-0798

日 時：平成 28 年 10 月 22 日（土）13：00～18：20（12：30 受付開始）

会 場：如水会百周年記念インテリジェントホール

（東京都国立市中 2-1 一橋大学西キャンパス構内）

【プログラム】

日本国憲法 24 条に「個人の尊厳」が規定され、それは憲法の基本原理の一つと理解されています。しかし、この概念がどこまで日本社会の中で定着しているのかはいささか疑問でもあります。というのもヨーロッパでは、例えばドイツなどのようにギムナジウム（日本の中学・高校に相当する）で「尊厳」の概念史を学ぶ国もあるのに対して、日本では未だに「尊厳」の概念史すら構築されていないからです。しかしその一方で、厚労省の HP では「地域包括ケア」に関連して「高齢者の尊厳」が謳われたり、悲惨な出来事であった相模原殺傷事件の後には障害者団体や識者によるコメントの幾つかには「尊厳」に関する言及もあつたりしてこの概念が様々な場面で意識に上りつつあるのもまた事実です。私たちは一橋大学と日本学術振興会およびトヨタ財団から研究助成を受けながら、「尊厳」の概念を単なる修辞表現としてではなく、市民が様々な抑圧や差別などに対して対抗するための規範的言説へと練り上げる研究を継続しています。今回はその一端を「尊厳」が問題となる日本社会の様々な場面に即して問題提起してみたいと思います。

12:30 -	開 場・受 付
13:00-13:20	趣旨説明：加藤 泰史（一橋大学大学院社会学研究科教授） 「尊厳概念のアクチュアリティ」
13:20-14:20	第一部 DV と差別をめぐる尊厳問題 宮地 尚子（一橋大学大学院社会学研究科教授） 「暴力と尊厳：公私の二分法から公/ 親密/ 個の三文法へ」 石居 人也（一橋大学大学院社会学研究科教授） 「ハンセン病者の生と死をめぐる社会的価値- 近現代の日本社会における-」
14:20-14:30	休 憩
14:30-15:30	第二部 高齢者介護と福祉政策の尊厳問題 後藤 玲子（一橋大学経済研究所教授） 「公共政策における決定不可能性と倫理について」 浜渦 辰二（大阪大学大学院文学研究科教授） 「日独の高齢者介護の比較- 「尊厳」概念を中心に-」
15:30-15:40	休 憩
15:40-16:40	第三部 生と死を取り巻く尊厳問題 香川 知晶（山梨大学大学院医学工学総合研究部医学部医学教育センター教授） 「人間へのゲノム編集は許されるか？」 松田 純（静岡大学特任教授/放送大学客員教授） 「尊厳死と安楽死- 「死ぬ権利」の法制化は「尊厳ある最期」を保障できるか」
16:40-16:50	休 憩
16:50-18:20	登壇者全員によるパネルディスカッション